



4. こまき市民一人ひとりが行動します

めざすこと①
一人ひとりの防災対策が
100点のまちにします

(1) こまきの現状

市では、2006年度にポルトガル語・スペイン語・英語・中国語の4言語で生活ガイドブックをつくり、そのなかで、地震・火事・大雨などについて説明しています。

また、市が防災訓練や消火訓練、地震体験などを行う時には、国際交流協会（KIA）と協力しながら外国人市民へ参加を呼びかけています。しかしながら、災害の時にける外国人市民の支援体制は確立されていません。

(2) こまきの課題

こまき調査から、地震・火事・大雨などの時に「どこに連絡していいかわからない」「逃げる場所（避難場所）を知らない」方や、言葉がわからないために「救急車や消防車を呼べない」「警察に通報できない」方がいることがわかりました。

特に、地震がない国から日本に来た外国人市民にとっては、経験がないために何をしたらよいかわかりません。日本語がわかる外国人市民にとっても、地震・火事・大雨などが起きたときはとても不安なものです。

(3) めざすことを考えた理由

防災対策は、人の命にかかわる大切なことであり、その中でも日頃から地域の住民同士が顔見知りであることが重要なポイントであると考えました。

課題の解決にむけて、挑戦すること

めざすこと①



実行する人	挑戦すること
<p>自治会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 地域や関係機関、市などの防災訓練や防災に関する講座への参加を呼びかけます。 <input type="checkbox"/> 出前講座を積極的に活用し、防災を学ぶ場をつくります。 <input type="checkbox"/> 外国人市民の協力を得て、外国人市民が参加しやすい防災訓練を行います。 <input type="checkbox"/> 地域の防災訓練の時に「防災対策チラシ」を配ります。
<p>外国人市民 日本人市民</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 地域や関係機関、市などの防災訓練や防災に関する講座への参加を呼びかけます。 <input type="checkbox"/> 地域や関係機関、市が行う防災訓練を外国人市民も理解できるように通訳や企画・運営などをサポートします。 <input type="checkbox"/> コミュニティの集まりなどの時に「防災対策チラシ」を配ります。
<p>国際交流協会 (K I A)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 地域や関係機関、市などの防災訓練や防災に関する講座への参加を外国人市民に呼びかけます。 <input type="checkbox"/> 地域や関係機関、市が行う防災訓練を外国人市民も理解できるように、通訳や企画・運営などをサポートします。 <input type="checkbox"/> 災害の時ににおける外国人市民の支援体制について検討します。 <input type="checkbox"/> 主催事業参加者に「防災対策チラシ」を配ります。
<p>企業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 地域や関係機関、市などの防災訓練や防災に関する講座への参加を従業員に呼びかけます。 <input type="checkbox"/> 自治会と協力し、地域の防災訓練を行います。 <input type="checkbox"/> 従業員に「防災対策チラシ」を配ります。
<p>小牧商工会議所</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 地域や関係機関、市などの防災訓練や防災に関する講座への参加を会員事業所に呼びかけます。 <input type="checkbox"/> 外国人市民を雇用する会員事業所に対し、従業員に「防災対策チラシ」を配るよう呼びかけます。
<p>市防災課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 外国人市民の現状にあった災害の時ににおける支援体制をつくります。 <input type="checkbox"/> 避難場所をホームページでわかりやすく伝えるようにします。 <input type="checkbox"/> 防災をテーマにした簡単な内容の講座メニューをつくります。 <input type="checkbox"/> 地域の防災訓練で、日本人市民と外国人市民が協力して取り組めるような訓練方法をつくります。 <input type="checkbox"/> 地域の防災訓練の時に、外国人市民リーダーを発掘します。 <input type="checkbox"/> 「防災対策チラシ」を外国人市民の意見も取り入れて多言語で作成します。 <input type="checkbox"/> 「防災対策チラシ」をホームページからダウンロードできるようにします。 <input type="checkbox"/> 「防災対策チラシ」を市内各公共施設に配ります。

子育て支援課
学校教育課

保育園、幼稚園や学校の避難経路図を多言語でつくり、園内などに掲示します。

生活交流課

防災課と協力し、災害の時の避難場所のお知らせなどの防災情報を定期的に外国語版生活情報誌にのせます。

外国人集住都市会議などと連携し、災害の時ににおける外国人市民の現状にあった支援体制をつくります。

市

庁内における
協力体制

「防災対策チラシ」を配ります！

市民課：転入手続きの時に配ります。

各市民センター：受付（教室申し込み）などの時に配ります。

保健センター：乳幼児健診、がん検診などの時に配ります。

子育て支援課：保育園で配ります。

学校教育課：幼稚園・学校で配ります。

廃棄物対策課：ごみ分別・ごみ減量の出前講座の時に配ります。

建築課：県営住宅や市営住宅の申込書と一緒に配ります。

生涯学習課：担当の行事開催の時に配ります。

文化振興課：担当の行事開催の時に配ります。

とてもよい実践です！

国際交流協会（KIA）では、外国人市民を対象にした公共マナー教室を行って
います。2010年度は消防署と協力して、5言語対応による教室を開きました。
中国、ベトナム、ペルー、タイ、ブラジル出身の外国人市民が参加し、AED
（自動体外式除細動器）の使い方や心臓マッサージの方法を学びました。

●参加した外国人市民の声
「初めてAEDの使い方を知りました。いざという時には、この知識を役に立
てたいと思います。」

